

1. 小・中・高の連携を重視した英語授業作り

講 師：田村岳充

実施日・時間：7月29日（火）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟3階8A33教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の英語教員

定 員：36名

準 備 等：使用している英語の検定教科書
自校のCAN-DOリスト

概 要：小・中・高の連携の視点から、日頃行っている英語授業を振り返ります。授業の映像を視聴したり、受講者間のディスカッションをしたりしながら授業改善の具体を検討し、夏休み明けの実践につなげられるようにすることを目指します。

2. 教師も楽しむ理科実験

講 師：南 伸昌

実施日・時間：7月29日（火）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階 化学学生実験室及び
8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員
興味があれば、校種、ご専門には拘りません

定 員：20名

準 備 等：白衣、もしくは実験用着衣。（安全）メガネ。
※何れも必要に応じて貸出有り

概 要：・午前：ものの見え方の認識を深める実験
見えるとは／形が分かるとは／実像・虚像／自然界の光学現象（蜃気楼、夕焼け、虹）
・午後：安全教育を中心とした化学実験
ガラスの性質／炎の性質／燃える条件／気体の性質／水蒸気の性質／水の沸点
そ の 他：実験に適した楽な格好で来てください。（作業着、ジャージ可。）
申込時に内容のリクエストがあれば検討します。

3. 教職についての理解を深めよう

講 師：東原定雄 井口桂一 尾崎承子 関口健一

実施日・時間：7月30日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：主として小学校・中学校・義務教育学校の臨時的任用職員

定 員：30名

準 備 等：特にはありません。

概 要：本講座は、主として、現在臨時的に任用され、学校経営の充実のために尽力されている先生方に、教師としての実践的な学びを提供するために開催するものです。

以下の4講座を開講します。

①学級経営 ～「集団づくり」にどう取り組むか～

②学習指導 ～「主体的・対話的で深い学び」をどう実践するか～

③児童生徒指導 ～子ども理解、問題行動への対応・支援～

④学校経営への参画 ～組織の一員として～

そ の 他：本講座は臨時的任用者対象の講座ですが、その他の方々の受講も可とします。

4. 見え方が気になる子どもへの支援

講 師：福田奏子 齋藤大地 石川由美子

実施日・時間：7月30日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員

定 員：40名

準 備 等：担当したり関わっていたりする子で、見え方や読み書きの様子に気になることがあれば、当日グループで対話する時間がありますので、「こんなことが気になる」というエピソードをメモ程度に当日ご持参ください。

概 要：先生方のまわりに、黒板を写すのに時間がかかったり、マスからはみ出して文字を書いていたりするような子はいませんか。もしかしたらその子は、視力や眼球運動、視覚認知などに関する見えにくさを有しているかもしれません。本セミナーでは、見え方が気になる子の理解の基礎として、高次精神機能の観点や、知的障害や発達障害のある子の事例の観点などから解説します。その上で、子どもが見やすく、学ぶことが楽しくなるような学習環境について対話的に考えてみたいと思います。

5. 教育改革に関する答申や法令などの最新動向 —学校改善へのヒントと課題を考える—

講 師：小野瀬善行

実施日・時間：7月30日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館5階505教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：20名

準 備 等：特にありません

概 要：本講座では、教育改革に関する中央教育審議会等における議論や最新の法令改正などを手がかりとして、学校改善へのヒントと課題を話し合っていきたいと考えています。例えば、令和6年12月25日、中央教育審議会に対し、「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」が諮問されました。この次期学習指導要領をめぐる議論において何が論点になっているのかを検討し、その影響について検討したいと思います。

6. 未来の生活をつくる力を育む家庭科の学び —キャリア教育からの視座—

講 師：渡辺朗生 李奎台

実施日・時間：7月31日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングcommons

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：20名

準 備 等：これまでに作成された学習指導案を印刷して、もしくはデータでご持参ください。データの場合はPCも合わせてご持参ください。（キャリア教育や生活設計に関わるものでなくて大丈夫です。）

概 要：教科教育においては、児童生徒が未来の生活を見通すことを目指した学習を構想することも重要です。本講座ではキャリア教育や生活設計教育の視点から、未来の生活をつくる力を育む家庭科教育の在り方を考えます。

- ①未来の生活をつくる力を育む家庭科教育理論
- ②生活を軸としたキャリア形成の方法論（就職・キャリア支援センター）
- ③未来の生活をつくる力を育む教材の紹介（花王 憐）
- ④キャリア・生活設計の視点からみた家庭科授業構想

7. 四元数に触れよう ―実数・複素数の一般化として―

講 師：佐々木優

実施日・時間：7月31日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：50名

準 備 等：特にありません

概 要：1843年イギリスの数学者ハミルトンによって発見された四元数は、実数・複素数を自然に拡張した数の体系として知られています。四元数は実数・複素数と類似の性質を多く持つ一方で、積に関する交換法則が成り立たない（掛け算の順番を入れ替えてはいけない）など、四元数独自の性質も存在します。本講座では、そんな四元数のいくつかの性質を取り上げ、四元数のもつ魅力に触れていきたいと考えています。

8. ICTを活用したものづくりについて考える

講 師：石島隆志

実施日・時間：8月1日（金）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングコモンズ

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：20名

準 備 等：ノートパソコン（Windows）

マウス

Google アカウント

概 要：GIGA スクール構想で整備されたタブレット端末の活用を想定したものづくりについて、グループワークにより協調的に考えていきます。

- ・Tinkercad を用いたモデリング
- ・3D プリンターによるネームプレートの作成
- ・レーザー加工機によるアクリルキーホルダーの作成
- ・AR（拡張現実）WEB アプリの作成
- ・Raspberry Pi によるプログラミング 等

本講座は、どの学校種からでも参加が可能です。日々の授業のヒントとなるような教材・教具を提案します。

9. 子どもの自己肯定感を育むリズム遊びの理論と実践

講 師：長谷川万由美 石川隆行 宮代こずゑ 高根沢伸友

実施日・時間：8月4日（月）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園遊戯室

対 象 教 員：幼稚園、小学校、特別支援学校の教員

定 員：20名

準 備 等：ドラムを足ではさむ場合があるのですべりにくい材質のズボンが望ましい

概 要：本講座では、子ども同士の関わりを通して自己肯定感を高めることを目的としたリズム遊びの理論と実践について学びます。具体的実践としてリズムアンサンブルの効果に着目して、ドラムサークル(参加者が輪になって打楽器を演奏する)をとりあげ、ドラムサークルファシリテーションの基本を学びながら、教育現場で生かす方法を検討します。

10. アクリル絵具で小品を描く

講 師：株田昌彦

実施日・時間：8月4日（月）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館B棟1階図画工作室

対 象 教 員：主に中学校や高等学校の教員、小学校や特別支援学校の教員も可

定 員：15名

準 備 等：・L判のフォトフレーム（100円均一で手に入れるもので大丈夫です）
×3枚以上

・筆（水彩用の物でも大丈夫です）

・アクリル絵具（大学でも準備していますが、できるだけ持参してください）

・水入れ

・ウエス（キッチンペーパーでも大丈夫です）

・ペーパーパレット（大学でも準備しますが、できるだけ持参してください）

・写真（写真転写に使用します。削り落とすことになりますので、雑誌や新聞で大丈夫です。個人で撮影したものはレーザープリンターでの出力の物に限ります）

概 要：アクリル絵具を用いた技法や描画法について、課題制作を通して教授します。具体的な課題内容については以下の通りです。

① 塗り重ねと研磨によるマチエール実験

② 写真転写

③ 石粉粘土との併用技法

いずれの課題も写真のL判サイズ（89mm×127mm）の画面に制作していただきます。画題は自由ですので、予め構想を練っておくと良いでしょう。

1 1. 歌と音楽がもっと好きになる英語教育学「再」入門

講 師：長谷川佑介

実施日・時間：8月5日（火）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A21教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校の教員

定 員：30名

準 備 等：特にありません。

概 要：対象教科は外国語（英語）です。共同教育学部の授業内容をアレンジし、英語教育学の基礎を楽しくおさらいできる講座にしました。英語の音声の特徴、言語理解のプロセス、外国語教授法の歴史といった幅広いトピックについてテンポよく概説していきます。英語の歌を取り上げた発音練習も行いますが、恥ずかしがりの先生でも安心してご参加いただけます。予習や準備は一切不要です。ただし、録音・録画・撮影等はお控えください。

1 2. 小学校各教科指導法の基礎・基本

講 師：上原秀一（道徳） 石塚諭（体育） 熊田禎介（社会） 高井太郎（国語）
出口明子（理科） 牧野智彦（算数）

実施日・時間：8月5日（火）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小学校・義務教育学校の臨時的任用職員

定 員：30名

準 備 等：特にはありません。

概 要：本講座は、現在、小学校で臨時的に任用され、学校経営の充実のために尽力されている先生方に、各教科の指導法について基礎的・基本的な学びを提供するために開催するものです。

国語・社会・算数・理科・体育・道徳の6教科について、学習指導要領改訂の最新の動向を踏まえて、指導法のエッセンスをそれぞれ50分の講習でお伝えします。

そ の 他：本講座は臨時的任用者対象の講座ですが、その他の方々の受講も可とします。

13. 日本で使われている文字と言語の歴史を学ぼう

講 師：高山林太郎

実施日・時間：8月6日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階大会議室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：50名

準 備 等：特にありません。

概 要：日本列島ではどのような文字や言語が使われてきたのでしょうか。それらの歴史を振り返ることで、「国語とは何か」ということへの理解が深まることが期待できます。次のトピックを扱います：縄文人、弥生人、古墳人、明治時代、占領政策、漢字、万葉仮名、カタカナ、ひらがな、ローマ字、アラビア数字、和語の歴史、漢語の歴史、外来語の歴史。

14. 「子どもの哲学」を体験してみよう

講 師：小井沼広嗣

実施日・時間：8月7日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A21教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員

定 員：20名

準 備 等：特にありません。

概 要：近年、「主体的・対話的な深い学び」を具体化する方法のひとつとして、「子どもの哲学(Philosophy for Children: 通称 p4c)」という対話的な探究活動が広がりをを見せています。p4c は総合的な学習の時間や道徳をはじめ、様々な教科で実践することが可能です。また、普段の学級づくりにも役立てることができます。この講座では実際に p4c を体験していただき、その魅力や特質、実践方法についてご紹介します。

15. 小学校社会科 授業づくり入門

講 師：小栗克樹

実施日・時間：8月7日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階8A23教室

対 象 教 員：小学校の教員（他の校種も受け入れ可能）

定 員：30名

準 備 等：授業で使用している教科書、地図帳、副読本、資料集等
社会科の年間指導計画（授業づくりで考えたい部分のみで可）

概 要：社会科の授業をどのように計画し進めたらよいか、具体的なイメージがわからず、悩んでいる方向けの講座です。前半は、実際に模擬授業を受けていただきながら、学習問題を見出す場面、解決の見通しを立てる場面、学習したことを振り返る場面など、主な学習場面の具体的なイメージをもっていただきます。後半は、夏休み明け以降に行う授業の指導計画づくりをグループまたは個人で行い、できたところまでを持ち帰っていただきます。

そ の 他：前半の模擬授業で小学校の事例を扱うため対象を小学校としていますが、小学校以外の校種の先生も受け入れ可能です。

16. 音楽×体育：心と身体で感じる音楽と動き

講 師：松浦佑希 平井李枝

実施日・時間：8月7日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員

定 員：20名

準 備 等：トレーニングウェア（着替え等）、体育館シューズ

概 要：本セミナーでは、音楽を体育などで取り入れるうえで必要となる音楽の基礎・・・拍子や拍の数え方、リズム、音楽の構成、舞踊音楽などを実践を通して体感していただきます。（主担当：平井）

また、音楽を使った体づくり運動の実技を中心に準備運動や体育授業や運動部活動等で応用できる学習教材を紹介します。（主担当：松浦）

そ の 他：実技内容は、無理のない範囲でご参加ください（見学可）。

17. 幼児・児童・生徒ひとりひとりの手持ちの力を尊重し育むための教育を考えてみよう

講 師：石川由美子 齋藤大地 福田奏子

実施日・時間：8月8日（金）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 7号館1階ティーチングコモンズ

対 象 教 員：特別支援学校に勤務している方および小・中・高校に勤務し特別支援教育に興味
関心のある方

定 員：20名

準 備 等：参加者ご自身が印象深く心に残している教育体験エピソードがある方はメモ程度
に当日ご持参ください。

概 要：幼児・児童・生徒が“**ここの今**” **自身の手持ちの力**を使って充実して生きることが
できる環境（対象としての人やモノ）を教育の場に整え共に生き合う。その先
にやっと“**できる（自立）**”を基盤とした子ども自身の主体的な活動の可能性がみ
えてくるかもしれないのであって、“できるようにさせる”ための教育目標と手段
が“**自立**”の前に敷かれる唯一の文脈(状況)ではないだろう。**ひとりひとりの手
持ちの力で“ここの今”を生き合うことができる教育**という視点から、教育を考
える対話的セミナーを開催します。その時間その場所で出会った主催者と参加者
だから創造できる時間と教育の可能性に興味のある方の参加をお待ちしていま
す。

18. 失敗しない生物実験

講 師：井口智文

実施日・時間：8月19日（火）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟4階基礎生物学実験室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員

定 員：12名

準 備 等：染色液を使用するので白衣を持っている方は持参して下さい（なくても受講は可能です。

概 要：生物実験は失敗することが多く授業で行う場合苦勞を伴います。本講座では、中学校理科の生物実験を中心に「動物細胞の観察」「染色体の観察」「葉の断面の観察」「気孔の観察」「DNAの抽出」などいくつかを精選し、実験成功のポイントを解説し実際に体験して頂きます。また、教科書記載実験をベースにした応用的内容の実験も紹介しますが、基礎的な実験が多く、生物実験をあまり得意にされていない方向けの講座となります。

そ の 他：令和6年度の講座の実験を一部変更して実施します。なお、理科の実験助手の方にとっても活用できる内容の実験を実施する予定です。

19. 学校教育と著作権（入門編）

講 師：新井恵美

実施日・時間：8月20日（水）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館A棟1階6A11教室

対 象 教 員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員（著作権について初めて学ぶとする方。昨年度「著作権について学ぶ」を受講した方も受講できます。）

定 員：30名

準 備 等：特にありません。

概 要：学校教育では、近年、著作物の取り扱いについて意識する機会が増えてきているのではないのでしょうか。学校での著作権侵害がニュースでも取り上げられるようになりました。本講座では、著作権に関する最低限の知識を身につけ、学校教育で起こりうるケースについて考える機会を持ちたいと考えています。受講することで、学校現場で発生しうる著作権の課題について、立ち止まって考える機会となることを期待しています。

20. 地球や宇宙を時間的・空間的な見方で捉えよう

講 師：瀧本家康

実施日・時間：8月21日（木）9時30分～16時

会 場：宇都宮大学峰キャンパス 基礎地学実験室、屋外

対 象 教 員：主として中学校理科・社会科（地理）の教員

定 員：16名

準 備 等：各自のノート PC（当日に限り学内 wifi への接続が可能です）

（勤務校から貸与されている PC や chrome ブックではなく、個人所有の Windows ノート PC を推奨します。業務用 PC や chrome ブックの場合、インターネット接続やソフトの動作に不具合が出る場合があることがこれまで確認されています）

概 要：地学（地球領域）の学習では、時間的・空間的な視点から対象を捉えることが重要です。しかし、その理科の他の領域とは異なる特有の視点が、指導者、学習者にとって地学（地球領域）の「教えづらさ」「学びにくさ」の原因となっていることも指摘されています。そこで、本講座では、地学特有の見方・考え方のポイントを体験的に学習し、今後の指導に活かせるきっかけとなることを目指します。

そ の 他：野外での活動も予定していますので、動きやすい服装・靴等をお願いします。ただし、暑熱環境の状況によって室内での活動に限定する場合があります。また、本講座では ICT 機器の活用を予定していることから、申込に際し以下の要件を満たしていることを条件とします。

【申し込み要件】

- ・ Gmail 等でのメールのやり取りがスムーズに行えること
（受講前にメールでのやり取りがあり、遅滞なく連絡を取ることが可能なこと）
- ・ Google アカウントを所持している、あるいは、参加に際して所持していただけること
- ・ Excel が操作可能な PC を所有し、自身が一般的なグラフを作成できること
- ・ WEB ブラウザ操作を容易に行えること
- ・ 受講に際し、ICT の熟達度について不安がある場合は、申し込み前に必ず相談ください